



2022年度大学院地域生活支援学専攻教員の横顔紹介

黒田 研二 (くろだ けんじ)

1 所属

生活支援科学研究科
地域生活支援学専攻 教授



2 授業担当科目

博士前期課程「精神保健福祉特論」
博士後期課程「健康福祉学特殊研究(4)
地域障がい者支援の視点と方法」

3 学歴

1975年 大阪大学医学部卒

4 学位

1986年 医学博士(大阪大学)

5 職歴

精神科、老年科の臨床医 6年間
阪大医学部(公衆衛生学講座)教員 14年間
大阪府立大教授(社会福祉学部) 16年間
関西大学教授(人間健康学部) 9年間
西九州学教授(看護学部・健康福祉学部)
2020年に着任し、4年目に入りました

6 研究活動

精神疾患患者の受療に関する社会医学的研究、精神障害者福祉に関するニーズ研究、難病患者の地域ケアに関する研究、要介護高齢者のケア、介護予防、認知症高齢者の支援、地域包括ケアシステムに関する研究、ホームレスの健康支援に関する研究など、保健・医療・福祉に関する社会的課題を、社会医学・社会福祉学の視点から研究してきました。

7 研究テーマ 地域保健、地域福祉、地域包括ケアシステム



8 教育活動

『高齢者福祉概説』(明石書店)
『学生のための医療概論』(医学書院)
『地域ですすめる介護予防』(中央法規)
『よくわかる地域包括ケア』(ミネルヴァ書房)
など、教育的目的の本を執筆・編集

9 貢献活動(地域・国際)

堺市社会福祉審議会会長、大阪府精神障害者療養環境
検討協議会会長、佐賀県健康づくり財団理事、佐賀県障
害施策推進協議会委員など

10 【私の人生の、あゝミゼラブル体験からの脱出】

楽天的性格のためミゼラブル体験の認知力が弱い傾向があります。臨床医から社会医学研究者に転じる時が、一種のクライシスでしたが、新たな環境でも支援をしてくれる人が周囲にはいるものです。助けられ上手になるといいです。

11 【大学人として受験生へのメッセージ】

大学とは、何かを教えてもらうところというより、自分で課題・問題を見出して、自ら学び、調べて考え、自らその問題の解答を見出していくところです。世界には解答のない課題・問題があふれています。教員や学生仲間との対話が、考えるヒントを与えてくれるでしょう。



神埼キャンパス3号館5階から佐賀平野を眺望

院生研究室がある6号館



連絡先 e-mail:kurodake@nisiky-u.ac.jp